

平成 30 年度 吹田市乳がん検診実施状況

【用語について】

マンモ併用検診：乳がん(視触診・マンモ併用)検診。40 歳以上対象。視触診で異常がなければマンモグラフィを撮影し、2 人の医師の読影により、検診結果の判定を行う。1 回/2 年受診。

視触診要精検：マンモ併用検診受診時、視触診の時点で要精検と判定されること。

視触診検診：乳がん(視触診)検診。30 歳代対象。視触診で検診結果の判定を行う。平成 29 年度をもって廃止。

初回・非初回：過去 3 年度以内に受診ありの場合は非初回、受診なしの場合は初回に分類。

【受診率の算出方法】

全国、大阪府と比較をするため、国が示す方法に基づき算出。

- 対象者数＝国勢調査において報告された人数－(就業者数－農林水産従事者数)

※平成 26 年度の受診率は平成 22 年国勢調査をもとに、平成 27 年度以降に関しては、平成 27 年国勢調査をもとに算出

- 受診率＝{(前年度の受診者数)＋(当該年度の受診者数)－(前年度及び当該年度における 2 年連続受診者数)}÷(当該年度の対象者数)×100

1 40 歳以上マンモ併用検診実施状況【平成 31 年 2 月 4 日時点】

(1) マンモ併用検診 年次別受診者数¹⁾及び受診率

表 1-1 は 69 歳以下の受診実績を示したものである。

平成 29 年度の受診者数(個別検診・集団検診²⁾の合計)は前年度比 737 人減少、受診率は 3.2 ポイント低下した。平成 30 年度においても、前年度の同時期と比べ受診者数は減少しており、平成 27 年度以降減少傾向にあるが、無料クーポン券送付事業において最もクーポン利用が多い平成 26 年度の受診率よりも高い。

初回受診者の割合は、平成 28 年度、平成 29 年度ともに低下した。先述の無料クーポン券送付事業の影響もあり、平成 26 年度、平成 27 年度の受診者数及び初回受診者割合が増加し、これらクーポン利用者が平成 28 年度、平成 29 年度にも受診したためと考えられる。

表 1-2 は全年齢の受診実績を示したものである。

40 歳以上全数においても、受診率・初回受診者割合ともに 69 歳以下と同様の傾向であった。

表 1-1 平成 26 年度～平成 30 年度(4～10 月)マンモ併用検診実績(40～69 歳)

	平成26年度 (参考値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度			平成30年度 (4～10月)
				個別	集団	合計	
対象者数(人)	37,568	36,046	36,046	36,046			36,046
受診者数(人)	9,154	9,978	9,401	8,592	72	8,664	4,113
受診率	43.5%	51.0%	51.4%			48.2%	
初回受診者数(人)	3,831	4,557	3,424	2,771	34	2,805	
初回の割合	41.9%	45.7%	36.4%			32.4%	

参考：表 1-2 平成 26 年度～平成 30 年度(4～10 月)マンモ併用検診実績(40 歳以上全数)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			平成30年度 (4～10月)
				個別	集団	合計	
対象者数(人)	64,012	68,000	68,000	68,000			68,000
受診者数(人)	10,420	11,350	10,992	10,341	81	10,422	5,090
受診率	29.5%	30.8%	31.4%			30.2%	
初回受診者数(人)	4,165	4,897	3,840	3,205	40	3,245	
初回の割合	40.0%	43.1%	34.9%			31.1%	

注：対象者数算出に用いるデータが異なるため、平成 26 年度と平成 27 年度以降の受診率比較には注意が必要。

1) マンモ併用検診の受診者数は、該当の年度末までにマンモグラフィの読影が完了したものを計上。

2) 平成 30 年 3 月 21 日に開催された「女性の健康フェスティバル」にて集団検診を実施。

参考：表 1-3 平成 26 年度、平成 27 年度 受診率比較（40～69 歳）

	平成26年度	平成27年度
受診率(吹田市)	43.5%	51.0%
受診率(大阪府)	28.8%	31.4%

資料：「大阪府におけるがん検診（平成 27 年度）」

注：対象者数算出に用いるデータが異なるため、受診率比較には注意が必要。

（2）マンモ併用検診 年齢階級別受診者数及び受診率

マンモ併用検診の受診者数を年齢階級別にみると、過去 3 年度間ともに 40～44 歳が最も多いが、経年的にみると減少傾向である。反対に 70～74 歳は、毎年受診者数が増加している。

受診率においては、過去 3 年度間ともに 50～54 歳が最も高く、次いで 40 歳代が高率だった。

図 1-1 平成 27 年度～平成 29 年度 マンモ併用検診年齢階級別受診者数

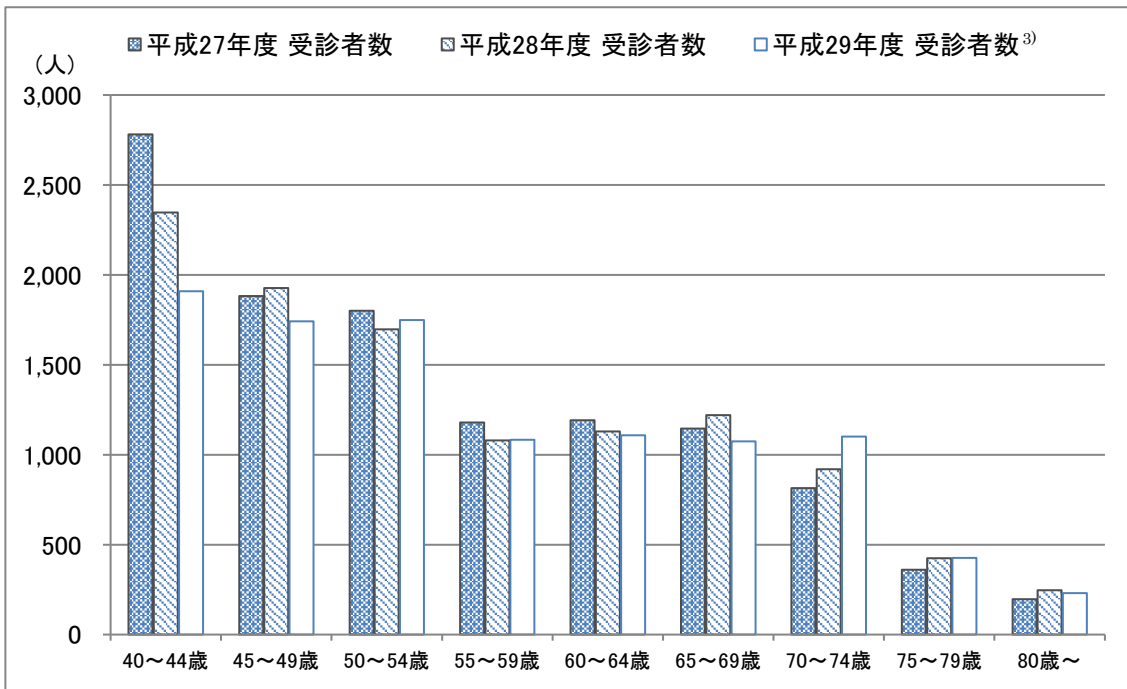
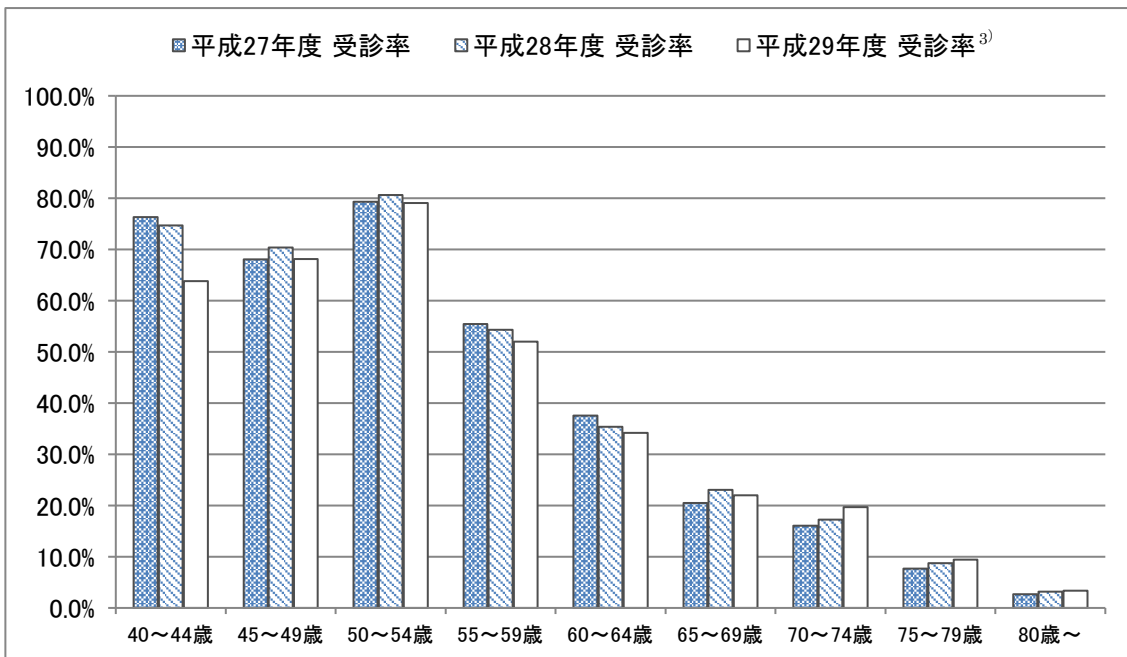


図 1-2 平成 27 年度～平成 29 年度 マンモ併用検診年齢階級別受診率



3) 平成 29 年度の受診者数及び受診率については、個別検診と集団検診を合わせて算出。

(3) マンモ併用検診 要精検者

平成 29 年度の要精検率は 8.7%で、前年度比 0.8 ポイント増加している。経年的に増加傾向であるが、許容値の範囲内である。

精検受診率は 97.8%と、経年的にみても高水準を維持している。

陽性反応適中度は 1.99%で、前年度比 1.81 ポイント減少している。

がん発見率は 0.17%であり、前年度比 0.13 ポイント低下しているが、視触診要精検を含めると 0.30%となり、許容値を満たしている。また、平成 29 年度は、特に早期がん割合が 88.9%と例年より高率である。

表 1-4 平成 25 年度～平成 30 年度（4～10 月）マンモ併用検診要精検者内訳（40 歳以上全数）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			平成30年度 (4～10月)	許容値	
					個別	集団	合計			
要精検者数(人)	646	737	850	868	902	3	905	445		
要精検率	6.8%	7.1%	7.5%	7.9%	8.7%	3.7%	8.7%	8.7%	11.0%以下	
精検受診者数(人)	623	710	826	849	883	2	885	422		
精検受診率	96.4%	96.3%	97.2%	97.8%	97.9%	66.7%	97.8%	94.8%	80.0%以上	
精検結果内訳	異常なし	296	335	372	404	441	2	443	190	
	がん	23	21	22	33	18	0	18	11	
	早期がん(再掲)	15	17	15	23	16	0	16	9	
	早期がん割合	65.2%	81.0%	68.2%	69.7%	88.9%	—	88.9%	81.8%	
	がん疑い	0	1	0	0	0	0	0	2	
	乳腺症	87	92	159	153	119	0	119	68	
	繊維腺腫	26	51	45	53	72	0	72	31	
	嚢胞	111	102	150	132	176	0	176	91	
	その他	80	108	78	74	57	0	57	29	
未受診	23	27	2	2	2	0	2	1		
未把握			22	17	17	1	18	22		
がん発見率	0.24%	0.20%	0.19%	0.30%	0.17%	—	0.17%	0.22%	0.23%以上	
陽性反応適中度	3.56%	2.85%	2.59%	3.80%	2.00%	—	1.99%	2.47%	2.5%以上	

参考：表 1-5 平成 27 年度 マンモ併用検診受診率比較（40～69 歳）

	全国	大阪府	吹田市
要精検率		7.9%	7.8%
精検受診率	87.2%	94.3%	97.0%
がん発見率	0.33%	0.38%	0.18%
陽性反応適中度	4.15%	4.80%	2.31%

資料：「平成 28 年度地域保健・健康増進事業報告の概要」
「大阪府におけるがん検診（平成 27 年度）」

2 30歳代視触診検診実施状況【平成31年2月4日時点】

(1) 30歳代視触診検診 年次別受診者数

平成28年度は、30歳代著名人の乳がん報道による影響から受診者が増加した。平成29年度の総受診者数は、前年度比393人減少の2145人であった。

表2-1 平成25年度～平成29年度 30歳代視触診検診実績

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診者数(人)	1,885	1,892	1,791	2,538	2,145

(2) 30歳代視触診検診 要精検者

平成29年度「がん」と診断されたものは0人だった。

表2-2 平成25年度～平成29年度 30歳代視触診検診要精検者内訳

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
要精検者数(人)		78	86	85	100	84
要精検率		4.1%	4.5%	4.7%	3.9%	3.9%
精検受診者数(人)		73	81	76	92	76
精検受診率		93.6%	94.2%	89.4%	92.0%	90.5%
精検結果内訳	異常なし	16	24	20	38	29
	がん	0	1	1	0	0
	早期がん(再掲)	—	1	0	—	—
	早期がん割合	—	100%	0%	—	—
	がん疑い	1	0	0	0	0
	乳腺症	9	14	12	14	12
	繊維腺腫	15	13	14	11	12
	嚢胞	29	17	18	16	17
	その他	3	12	11	13	6
未受診	5	5	1	1	0	
未把握			8	7	8	
がん発見率		—	0.05%	0.06%	—	—
陽性反応適中度		—	1.16%	1.18%	—	—

3 40歳以上視触診要精検実施状況【平成31年2月4日時点】

(1) 40歳以上視触診要精検者

平成29年度は、14人が「がん」と診断されている。視触診の時点で、しこり等が検出されるケースが要精検となるため、陽性反応適中度は高率である。

表3 平成25年度～平成30年度（4～10月） 40歳以上視触診要精検者内訳

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (4～10月)
要精検者数(人)		120	168	115	77	99	54
精検受診者数(人)		116	150	110	75	96	49
精検受診率		96.7%	89.3%	95.7%	97.4%	97.0%	90.7%
精検結果内訳	異常なし	40	46	43	22	40	17
	がん	11	19	9	8	14	5
	早期がん(再掲)	6	13	4	3	7	※照会中
	早期がん割合	54.5%	68.4%	44.4%	37.5%	50.0%	—
	がん疑い	0	0	0	0	0	0
	乳腺症	16	22	12	10	11	5
	繊維腺腫	13	20	12	12	13	4
	嚢胞	25	24	21	14	12	14
	その他	11	19	13	9	6	4
未受診	4	18	0	0	0	0	
未把握			5	2	3	5	
陽性反応適中度		9.17%	11.31%	7.83%	10.39%	14.14%	9.26%

4 乳がんであったケースの詳細【平成31年2月4日時点】

(1) 40歳以上マンモ併用検診

表4-1 平成29年度 マンモ併用検診においてがんであった者

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

表4-2 平成30年度（4～10月）マンモ併用検診においてがんであった者

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

(2) 40歳以上視触診要精検

表 4-3 平成 29 年度 40 歳以上視触診要精検者においてがんであった者

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

表 4-4 平成 30 年度（4～10 月） 40 歳以上視触診要精検者においてがんであった者

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

表 4-5 平成 29 年度～平成 30 年度（4～10 月）病期分類Ⅱ以上かつ非初回者の前回受診状況

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。

5 マンモグラフィ実施医療機関別受診状況【平成31年2月4日時点】

個人情報保護の観点より、詳細な内容は非公開とします。